

フォナック ターゲット 7.1.9

フォナック ターゲット取扱説明書



フォナック ターゲットフィッティングソフトは、適格な聴覚専門家がクリニックにて、顧客の固有要件に合わせて補聴器を設定、プログラム、フィッティングするために使用します。この取扱説明書は、フォナック ターゲットで補聴器をフィッティングするための詳細な入門書です。フォナック ターゲット開始画面で[News](ニュース)も閲覧できます。

目次

構成とナビゲーション.....	2
補聴器と CROS の準備.....	2
ジュニアモード.....	2
レシーバチェックと音響パラメータ.....	3
ハウリングと実耳テスト.....	4
オーディオグラムダイレクト.....	4
基本調整.....	4
ターゲットマッチ.....	5
検査用の設定.....	5
微調整.....	5
サウンドリカバー2.....	6
耳鳴りバランス.....	6
機器オプション.....	7
バイモーダルフィッティングの特記事項.....	7
リモートサポート.....	8
コンプライアンス情報と記号の説明.....	10
システム要件.....	12

構成とナビゲーション

3つのタブ([Client](顧客)、[Instruments](機器)、[Fitting](フィッティング))、およびその上にあるダッシュボードに、簡単なナビゲーションと状態に関する情報が表示されます。

ダッシュボード内の各アイコン上にマウスポインタを重ねることで、オーディオグラムの作成日、補聴器のシリアル番号、処方式、ハウリングテストの状態、Bluetooth®を使用する側などの重要情報を見ることができます。

Client	Instruments	Fitting
個人データ、オーディオグラム、RECD、REUGなどの顧客情報はすべて、[Client](顧客)内で見られます。	補聴器、音響パラメータ、およびアクセサリーは、[Instruments](機器)内で見られます。	補聴器の調整と微調整はすべて、[Fitting](フィッティング)内で行えます。

補聴器と CROS の準備

アイキューブ II または Noahlink Wireless™

ケーブルで補聴器と接続する必要はありません。電池を入れ、電池収納部を閉じ、補聴器の電源を入れれば完了です。充電式の補聴器に電源を入れます。

NOAHlink™ または HI-PRO® 2

プログラミング用のケーブルを補聴器とフィッティング機器に接続します。Phonak と書かれたケーブルを使用してください。

Phonak Trial™ 補聴器

Phonak Trial 補聴器は、ダイレクト接続が可能な BTE および RIC 補聴器として提供されます。

下部にある黒色のメニューバーの [Trial & tools](トライアルとツール)をクリックします。[Trial hearing aids](トライアル補聴器)、[Configure](設定)の順に選択します。目的のパフォーマンスレベルを選択し、[Continue](続行)を押します。プロセスが完了すると、機器はフィッティングセッション内でフィッティング可能な状態になります。

ジュニアモード

ジュニアモードは、子供の年齢に応じて、子供と家族のニーズに合うように最適化された、年齢特有の DSL のデフォルトや NAL のデフォルト、および補聴器の設定を提供します。ジュニアモードには、下記4つの年齢幅があります。

- 0-3 歳
- 4-8 歳
- 9-12 歳
- 13-18 歳

これらのデフォルト設定は、フォナック小児諮問委員会および国立聴覚研究所により推奨されています。この設定により、柔軟で効率良くジュニアフィッティングが開始できます。[Setup](セットアップ)の中で、自分の小児用フィッティングワークフローに合うわせて、ジュニアモードのデフォルトのパラメータをカスタマイズ、および変更できます。

生年月日を入力しておく、新しい顧客セッションを開いた後に、0-18歳の子どもに対してはジュニアモードフィッティングを促す表示が自動的に現れます。行動学的/身体的年齢が初期設定した実年齢と異なっていると考えられる場合は、ドロップダウンメニューから子どもに適した年齢範囲を選択できます。

[Apply Junior mode](ジュニアモードを適用)をクリックし、続行します。

補聴器を最初に接続すると、装用者が0-3歳の場合には、いたずら防止ソリューションを取り付けるように通知が表示されます。利用可能な補聴器にいたずら防止ソリューションがない場合には、別の通知が表示されます。

フィッティング情報の転送

ターゲットでは、あるフィッティングセッションから新しく選択した補聴器へと設定情報を転送できます。フィッティング情報転送ツールは、上部に黒色で表示されるメニューバーにある[Fitting](フィッティング)のドロップダウンメニュー内で閲覧できます。転送プロセスの際には、設定を転送できるかできないかについて、ターゲットが表示します。

バイモーダルフィッティングへ、またはバイモーダルフィッティングからフィッティング情報を転送することはできません。

補聴器の接続

顧客のフィッティングセッションの中で、正しいフィッティング機器が表示されていることを確認します。フィッティング機器を変更するには、ダッシュボードにあるフィッティング機器の隣に表示されているプルダウン矢印を使用します。

[Connect](接続)をクリックしてフィッティングを開始します。接続した補聴器がダッシュボードに表示されます。ペアリングの可能な機器が、自動的に表示されます。

機器が見つからない場合は、電池ホルダーを開閉するか、充電式補聴器の電源を入れなおして、ペアリングモードにします。

複数の機器を利用できる場合、または顧客に装用する側(左右)を確認する場合は、補聴器の多機能ボタンを押してリスト内で該当機器をハイライトします。

Noah[™](ノア)からのオージオグラムデータは、自動的にフォナックターゲットにインポートされ仮計算に反映されます。ターゲットのスタンドアロンバージョンでは、[Audiogram](オージオグラム)画面でオージオグラムを入力します。

レシーバチェックと音響パラメータ

[Instruments](機器) > [Acoustic parameters](音響パラメータ)の順に進み、正しいカップリング情報を入力または確認してください。

フォナックが製造したオーダーメイド耳栓(イヤチップ)を顧客が使用している場合は、耳栓(イヤチップ)の音響コードを入力できます。音響コードは、耳栓(イヤチップ)に印刷されている6桁の数字です。

補聴器に接続されているフィッティング済みレシーバは、補聴器が接続されたときに、ターゲット内で選択されたものと一致しているかが、自動的に確認されます。このチェックは、音響パラメータ画面で

[Check](チェック)をクリックすることでも行えます。一致していなかった場合は、音響パラメータ画面で不一致を直す、またはターゲットでの入力内容に合うようにレシーバを交換して不一致を直すことができます。

アクセサリー

アクセサリーは、[Instruments](機器) > [Accessories](アクセサリー)の順に進み、手動で選択できます。選択した補聴器に対応するアクセサリーのリストだけを見るには、[Show only compatible accessories](対応するアクセサリーのみを表示)をチェックします。

ハウリングと実耳テスト

[Fitting](フィッティング)をクリックして、[Feedback & real ear test](ハウリングと実耳テスト)にアクセスします。ハウリングテストは、順に両耳で行うことも、片耳だけで行うこともできます。[R](右耳)、[Start both](両耳で開始)、[L](左耳)のいずれかをクリックして、テストを開始します。

オーディオグラムダイレクト

オーディオグラムダイレクトは、フォナック ターゲット内で実施できるインサイチュ聴力測定です。顧客の補聴器を通して、直接に顧客の聞こえをテストできます。オーディオグラムダイレクトは診断的な聴覚評価に代わるものではありません。

AC 測定および不快閾値測定のデフォルト動作を変更するには、[Setup](セットアップ) > [Fitting session](フィッティングセッション) > [AudiogramDirect](オーディオグラムダイレクト)の順に進みます。

接続した補聴器を使用して気導(AC)聴力閾値と不快閾値(UCL)をテストするには、[AudiogramDirect](オーディオグラムダイレクト) > [Start](開始)の順にクリックしてください。不快閾値測定は任意です。また、フォナック リモートサポートセッション中は行えません。

基本調整

利得レベル、閉塞感対処、圧縮比の調整が必要な場合は、[Global tuning](基本調整) > [Initial fitting](初期フィッティング)の順に進んでください。利得レベルおよび圧縮比設定は、顧客の装用経験および選択された処方式に基づいています。

接続した補聴器によっては、画面下部にあるタブから [Tinnitus Balance](耳鳴りノイズ・バランス)、[CROS Balance](CROS バランス)などの追加ツールにアクセスできます。CROS 機器と補聴器のラウドネス比を調整するには、[CROS Balance](CROS バランス)をクリックします

自動順応マネージャ

補聴器に到達してほしい目標利得レベル、および補聴器が目標利得に到達するのに必要な日数を設定することにより、顧客を全体的に高い利得レベルへと自動順応させます。

[Initial fitting](初期フィッティング)タブの利得レベルメニューで、[Auto acclimatization](自動順応マネージャ)を選択します。開始時のレベル、終了時のレベル、および補聴器の利得が設定した終了時のレベルまで自動的に上昇する際の上昇時間を指定します。

ターゲットマッチ

ターゲットマッチは、実耳測定の新しい自動ガイダンスシステムです。プローブチューブ配置、実耳測定、自動ターゲット マッチングの作業に沿って、ステップごとにガイドが行なわれます。

ターゲットマッチは、ノア内でターゲットを使用している場合に可能です。

[R](右耳)、[Start both](両耳で開始)、[L](左耳)のいずれかをクリックして、ターゲットマッチを開始します。その後は、アシスタントの指示に従って一連のステップを行います。

検査用の設定

ターゲットマッチの範囲外で検証を行う場合は、補聴器内のさまざまな信号処理法、利得と圧縮の変数、周波数低域化、および雑音管理アルゴリズムが、利得と MPO 設定の検証に影響を与えることがあります。これらの課題に対処するには、簡素化された検証プロセス用の適応機能をオフにするために検査用の設定を有効にします。

検査用の設定は、[Fine tuning](微調整) > [Gain & MPO](利得&MPO) > [Verification assistant](検査用の設定)からアクセスできます。その後は、アシスタントの指示に従って一連のステップを行います。

微調整

微調整では、個人に合わせたフィッティングのために、聴覚パフォーマンス機能、サウンドクリーニング機能に加えて、利得と MPO の調整など具体的なフィッティング機能にアクセスします。

[Fine tuning](微調整)画面の左側はプログラム管理に使用します。ここでは、スタートアッププログラム、プログラム構成、ストリーミングプログラムをカスタマイズできます。

すべてのプログラムを同時に調整するには[All programs](すべてのプログラム)をクリックします。すべての音響オートマッチプログラムを修正するには、[AutoSense OS](オートセンス OS)をクリックします。ストリーミング用の AutoSense OS[™](オートセンス OS)を修正するには、[AutoSense OS (streaming)](オートセンス OS (ストリーミング))をクリックします。

単一プログラムを修正するには、プログラムリスト内から[Calm situation](静かな環境)などのプログラムをクリックし、必要に応じて調整します。

追加用の手動プログラムを追加するには[+]アイコンをクリックします。

元に戻す/やり直しの矢印が[Fine tuning](微調整)の隣にあり、微調整画面でステップを元に戻したり、やり直したりするために使用できます。

利得値は、MPO と同様に、大中小の入力音に対して調整可能です。

可聴性の微調整

選択可能な音サンプルに関連する利得は特性画面に表示されます。音サンプルは特定の聞き取り環境をシミュレーションするために再生できます。

利得値は大中小の入力音別に表示されます。修正可能な調整は選択した音サンプルの可聴性を向上させるのに関連する利得レベルと周波数のみに影響し、異なる色付き領域(赤色/右側、青色/左側)で表示されません。

自動微調整

これは、使用状況を基に微調整するツールです。使用可能な調整は、音環境に対する着用者自身の主観評価により異なります。選択したプログラムによっては、推奨される音サンプルが事前に選択されます。音サンプルは、聞き取り環境をシミュレーションするために再生できます。

プログラム オプション

プログラム オプションは、初期設定から調整できます。各プログラム別に複数の機能を有効または無効にしたり、作用の強さを変更したりできます。各スライダー内で使用可能な作用レベルの範囲が表示されます。この範囲は補聴器のクラスにより異なります。

ダイレクト通信補聴器では、ストリーミングにアクセスする切替動作のデフォルトを、テレビコネクタ一、Roger™(ロジャー)、および PartnerMic™(パートナーマイク)用に変更できます。

サウンドリカバー2

サウンドリカバー2 は、適応動作が可能な周波数圧縮システムです。

サウンドリカバー2 は、デフォルトで以下のようにになっています。

- オン: 8kHz の閾値が 45 dB HL 以下で、水平型難聴または漸傾型難聴の場合
- オフ: 逆漸傾型難聴(8 kHz が 3 kHz よりも 30 dB 以上良い)の場合。

サウンドリカバー2 を無効にするには、[Fine tuning](微調整) > [SoundRecover2](サウンドリカバー2)の順にクリックします。[Enable SoundRecover2](サウンドリカバー2 を有効にする)のチェックボックスからチェックを外すと無効になります。

サウンドリカバー2 を微調整するには、[Fine tuning](微調整) > [SoundRecover2](サウンドリカバー2)の順にクリックします。

- /s/と/sh/を検出する能力を高めるには、[Audibility](可聴性)に向けてスライドします。
- /s/と/sh/の差を識別する能力を高めるには、[Distinction](識別性)に向けてスライドします。
- 男性の声、自声音、音楽など音の自然さを高めるためには、[Comfort](快適性)に向けてスライドします。

耳鳴りバランス

耳鳴りバランスのノイズジェネレーターは、音を増強する手段です。耳鳴り治療プログラムの一環として使用できます。

ノイズジェネレーターは、[Fitting](フィッティング) > [Global tuning](基本調整) > [Tinnitus Balance](耳鳴りバランス)で有効か無効かを設定できます。有効にすると、生成されたノイズの形状が緑色で表示されます。曲線表示を[Output](出力)に設定する必要があります。

デフォルトの特性は、顧客のオーディオグラムに基づいて計算されます。[Tinnitus Balance shape](耳鳴りバランスシェープ)のドロップダウンメニューにあるデフォルト([Set to hearing loss](難聴に設定))は、[Set to white noise](ホワイトノイズに設定)または[Set to pink noise](ピンクノイズに設定)へ変更できます。

ノイズジェネレーターの最大出力レベルは、85 dB(A)までに制限されています。一般的な騒音暴露の推奨値に従って、ノイズジェネレーターのレベルが80 dB(A)を超えると警告メッセージが表示されます。このメッセージが表示されると、一日当たりの推奨最大装用時間が最大雑音レベルの下に表示されます。

耳鳴りバランスのノイズジェネレーターに関する微調整には、[Fine tuning](微調整) > [Tinnitus Balance](耳鳴りバランス)を使います。

耳鳴りバランスは、フォナック スカイ補聴器では利用できません。フォナックでは、18歳未満の子どもに耳鳴りバランスをフィッティングするための推奨できる臨床フィッティングガイドラインを用意していません。

データログ

データログからは、顧客が置かれた聞こえ環境および置かれた時間についての情報が得られます。データログ情報にアクセスするには、[Fitting](フィッティング) > [Data Logging](データログ)の順に進みます。

機器オプション

[Device options](機器オプション)をクリックすることで、マニュアルコントロール、お知らせ音と警告音、スタートアップ動作、データログなどの補聴器オプションを設定できます。

補聴器が接続されていると、[Signals & alerts](お知らせ音と警告音)の各設定項目を実際に補聴器からデモンストレーションできます。

フォナックダイレクト通信補聴器を使用すると、[Bluetooth]をクリックして、Bluetooth名称や使用する側の設定、ペアリング管理などの追加設定を行えます。

カスタマイズしたフィッティングに関する報告書を顧客が持ち帰れるように、電子メールで送ったり、印刷したりするためのオプションがあります。報告書には、プログラム情報の他に、機器情報も含まれます。

バイモーダルフィッティングの特記事項

Phonak Naída[™] Link M(フォナック ナイダーリンク M)は、アドバンストバイオニクス(AB)の Naída[™](ナイダー)CI M サウンドプロセッサと組み合わせて、バイモーダルフィッティングで使用できます。フォナック スカイリンク M は、AB の Sky CI[™](スカイ CI)M サウンドプロセッサと組み合わせて、バイモーダルフィッティングで使用できます。

フィッティングセッションを開き、Noahlink Wireless が表示されていることを確認します。補聴器とサウンドプロセッサの両方を接続して、フィッティングを開始します。ペアリングの可能な機器が、自動的に表示されます。補聴器とサウンドプロセッサを顧客のフィッティングセッションへ接続すると、ターゲットは、補聴器のプログラム構成と機器オプションをサウンドプロセッサに合うように、自動的に調整します。

ナイダーリンク M または スカイリンク M 補聴器のフィッティングを完了させるには、標準のフィッティングセッションと同じように、フォナックターゲットを続けて使用します。

サウンドプロセッサは読み込み専用モードになっています。サウンドプロセッサに対して変更を行ったり、変更を保存したりすることはできません。補聴器側の関連設定を合わせるために、サウンドプロセッサ設定を確認し、その情報を使用できます。

フィッティングセッションから補聴器とサウンドプロセッサーを切り離すと、両機器間のワイヤレス接続が自動的に始まります。

リモートサポート

フォナック リモートサポートは、遠隔から補聴器を調整することで、顧客のフィッティングを助けるように設計されています。

要件

- 最新バージョンのフォナック ターゲット ソフトウェア(最適な体験のため)。
- 最新バージョンのマイフォナック アプリが顧客の携帯電話にインストールされていること。
- リモートサポートにより有効にされた上位版の PhonakPro アカウント。(一部の国でのみ適用可能)。
- 最初のフィッティングはあらかじめ対面で実施しておく必要があります。
- 内蔵マイクロホンか内蔵ウェブカメラ、または外付けウェブカメラやマイクロホンの付いたコンピューター。より良好な音質を届けるためには、リモートサポートではマイク付きのイヤホン/ヘッドフォンを使用してください。
- 安定したインターネット接続 (Wi-Fi、LAN または 4G) - アップロードおよびダウンロード用のデータ転送速度が少なくとも 5 メガビット/秒が必要となります。4G を使用している顧客は、契約内容に応じてデータ使用量に対する追加料金を請求される可能性があります。

インターネット接続については、セットアップがリモートサポートセッションに適していることを確認するために、ターゲット内でチェックできます。[Setup](セットアップ) > [Internet](インターネット) > [Internet services](オンラインサービス) > [Connection test](接続テスト)の順にクリックしてください。完了したら、現在の状態が表示されます。

リモートサポートのセットアップ

リモートサポートの対象顧客を選択します。利用可能なクリニックが複数ある場合は、リモートセッションを行うクリニックを選択します。

[PhonakPro login](PhonakPro にログイン)をクリックして、PhonakPro にログインします。または、新しい PhonakPro アカウントを作成します。PhonakPro アカウントは、一部の国でのみ適用されます。

自分の PhonakPro アカウントに接続すると、フォナック リモートサポートの招待を顧客へ送信できます。[Invite](招待)ボタンをクリックしてください。招待には、フォナック リモートサポートセッションに必要なマイフォナック アプリを顧客がダウンロードするためのリンクが含まれています。

PhonakPro アカウントと招待が不要な国では、以下の手順に従ってください。

- 最初のフィッティングはあらかじめ対面で実施しておく必要があります。[Save & close session](セッションを保存して閉じる)をクリックすると、リモートサポートが有効になります。
- 既存顧客のために互換補聴器のリモートサポートを有効にするには、補聴器をクリニックのターゲットに接続する必要があります。セッションを保存すると、リモートフィッティングが利用可能になります。
- リモートサポートセッションを行う前に、顧客はスマートフォンにマイフォナック アプリをダウンロードし、補聴器とアプリをペアリングしておく必要があります。


ビデオ通話とフォローアップセッション

リモートサポートセッションに接続する前に、顧客が補聴器に新しい電池を入れていること、または充電式補聴器を十分に充電していることについて、確認を行うよう推奨いたします。

[Start Remote Support](リモートサポートの開始)をクリックします。顧客とともにビデオ通話に接続されます。顧客がマイフォナック アプリを使用してフォナック リモートサポートセッションに入るまで待つ場合もあります。

接続に成功すると、顧客の顔が見え、声も聞こえます。コンピューターのビデオとマイクロホンが有効になっているか確認してください。内蔵マイクロホン、外付けマイクロホン、ウェブカメラ間の切り替えは、リモートサポート画面の右上隅にある設定ダイヤルをクリックすることで行えます。切り替えは、セッション前でもセッション中でも行えます。

顧客がリモートサポートセッションに入り、スマートフォンでカメラとマイクのリクエストを許可するとすぐに、双方のビデオ映像が画面上に表示されます。

顧客の補聴器との接続が確立されると、アイコンが表示されます。補聴器が接続されたら、フォローアップセッションで、通常通りにターゲットを使用します。補聴器はライブ状態になっているので、加えた調整内容はすべてリアルタイムで補聴器に伝送されます。

ターゲットでのフィッティングセッションを保存して閉じるまで、顧客とのフォナック リモートサポートを終了することはできません。リモートサポートセッションの実施中に顧客の補聴器とターゲット間の接続が切断された場合、補聴器は再起動し、前回の有効なフィッティングを維持します。

フィッティングセッションの終了

画面右上隅にある **[Save & close session]**(セッションを保存して閉じる)をクリックすれば、いつでもセッションを閉じられます。保存するアイテムを選択します。保存ダイアログでは、補聴器とアクセサリーが正常に保存されたことを確認できます。保存終了後、フォナック ターゲットは自動的に開始画面に移動します。ノアを利用している場合は、開始画面の右上隅にある **[Back to NOAH]**(NOAHに戻る)をクリックするとノアに戻れます。

コンプライアンス情報と記号の説明

コンプライアンス情報

欧州: 適合宣言

これにより、Sonova AG は、本製品が医療機器規則(EU)2017/745 の要件に適合していることを宣言します。適合宣言の全文については、以下のアドレスにて製造業者から入手できます。

www.phonak.com/us/en/certificates

取扱説明書の書面コピー(無料)を入手するには、お近くの補聴器販売店にお問い合わせください。7 日以内にコピーをお送りします。

本製品が関係する重大事故が発生した場合はすべて、補聴器販売店および居住地域の関係当局までお知らせください。重大事故とは、以下のいずれかに至った可能性または至る可能性のある、あらゆる直接的事故や間接的事故を指します。

- a) 顧客、ユーザー、または他の人の死亡
- b) 顧客、ユーザー、または他の人の健康状態が一時的または永久的に著しく低下すること
- c) 公衆衛生に対する重大な脅威

セキュリティに関する通知:

患者のデータは個人に属するデータなので、適切に保護することが重要です。

- 使用しているオペレーティングシステムが最新のものであることを確認してください。
- Windows のユーザーログインを有効にし、強力なパスワードを使用し、認証情報を機密扱いとしてください。
- 適切かつ最新のマルウェア対策およびウイルス対策を行なってください。

国内法によっては、データの紛失および/または盗難に対して免責されるには、あらゆる顧客データを暗号化するように要求される場合があります。パソコン上の全データを保護するために、ドライブ暗号化機能(無料の Microsoft BitLocker など)を利用できます。NOAH を利用している場合は、NOAH のデータベース暗号化機能の利用を検討してください。

常にデータを安全な状態に保つようにしてください。

- 安全でない経路でデータを転送する場合は、匿名データにして送ってください。または、データを暗号化してください。
- バックアップデータを紛失だけでなく盗難からも保護してください。
- 今後使用しないデータ媒体または廃棄予定のデータ媒体からは、全てのデータを消去してください。

ここに示した内容は全てを網羅したものではないことに、注意してください。

記号の説明

	<p>CE マークにより、Sonova AG が医療機器規則(EU)2017/745 を遵守していることを示します。CE マークに続く番号は、上記の規則下で評価を行った公認機関のコードを表します。</p>
 名前、住所、日付	<p>EU 規則(EU) 2017/745 に定義される記号の組み合わせで、医療機器の製造業者および製造日を示しています。</p>
	<p>欧州共同体の法定代理人であることを示しています。 EC REP は欧州連合への輸入業者でもあります。</p>
	<p>本機器が医療機器であることを示しています。</p>
	<p>医療機器を識別するための製造業者によるカタログ番号を示しています。</p>
	<p>使用説明書を参照してください。使用説明書は www.phonakpro.com ウェブサイトから取得できます。</p>
	<p>特長や機能の詳細を説明します。</p>
	<p>適用される関連フィッティング情報をハイライトします。</p>
	<p>顧客の体験に影響する可能性のある機能上の制限を説明し、注意すべき重要な情報をハイライトします。</p>
	<p>HIMSA 認証記号、NOAHSEAL</p>

システム要件

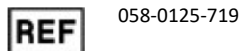
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10、Home / Pro / Enterprise Windows 8.1、Pro / Enterprise Windows 7 Enterprise、最新サービスパック、拡張セキュリティ更新プログラム付き
プロセッサ	Intel Core 以上の性能のもの
RAM	4 GB 以上
ハードディスク容量	3 GB 以上
画面解像度	1280 x 1024 ピクセル以上
グラフィック カード	表示色数 1600 万色 (24 ビット) 以上
ドライブ	DVD
シリアル COM ポート	RS-232 HI-PRO を使用する場合のみ
USB ポート 以下の各目的に 1 つずつ	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth アダプタ アクセサリプログラミング HI-PRO、ただし USB ポート経由で使用する場合 Noahlink Wireless
プログラミング インターフェイス	Noahlink Wireless/アイキューブ II/NOAHlink/RS-232 HI-PRO/HI-PRO USB/HI-PRO 2
ノアリンク ドライバー	入手可能な最新バージョン
Noahlink Wireless ドライバー	入手可能な最新バージョン
インターネット接続	推奨
サウンドカード	ステレオまたはサラウンド 5.1
再生システム	20 Hz ~ 14 kHz (+/- 5 dB)、90 dB
ノアのバージョン	最新バージョン(ノア 4.4.2280 以上) Windows 64 ビット オペレーティング システム用 NOAH の制限事項を http://www.himsa.com で確認してください。
ターゲットマッチ	ノアのバージョン 4.4.2280 以降 Natus®オトスイート 4.81.00 以降 Natus Aurical フリーフィット REM 用およびオリカル ヒット検査箱測定用

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG Inc. が所有する登録商標です。Sonova AG は、使用許可を得てこれらのマークを使用しています。

2021 年 CE マーク取得



製造元:
Sonova AG
Laubisrütistrasse 28
CH-8712 Stäfa
Switzerland



フォナック ターゲット 7.1.9 DVD